

# 停止要請後も飛行

米軍の輸送機オブフレイジが墜落した衝撃は、関係する全国の自治体にも広がった。情報収集に追われ、徹底した原因究明や一時的な飛行停止を求める声が相次いだ。

沖縄県は29日、全ての米軍オブスライの飛行を停止するよう求めた。だが、米軍普天間飛行場（沖縄県宜野湾市）周

事故翌日、米軍普天間飛行場近くの住宅地上空を飛ぶオスプレイ＝30日午前10時40分、沖縄県宜野湾市  
駐屯地の創立記念行事で  
予定されたが、山口祥義  
知事は11月30日、中止に  
なったと明らかにした。  
事故当日には陸自オス  
プレイの飛行訓練が県内  
で初めて行われたばかり  
り。県担当者は「なんて  
いうタイミング」。  
千葉県木更津市の陸自

木原義典准将では2002年1月から「性別と配偶の14機が暫定配備され、オスマントリイが飛行下で漁業を営む新木更津市漁業協同組合は「離落の事故が起きた」といふと繰り返しいるるねか。」と語る。「離落したオスプレイが所屬する米空軍横田基地

(東京都)周辺の5市町と都は30日、横田基地に對して飛行停止を求める要請を行つた。横田基地の地元・福島市の加藤亮明市長は、役所を訪れた北関東防災局と「政府が29日に軍に飛行停止を命じた」も指摘を加へた。米軍のオスプレイが時着水?

乗員数「8人」に修正

米軍輸送機オスナレイ  
が墜落した鹿児島県の屋久島沖では、30日の海上保安庁による捜索活動が続いた。29日と見つかった死者一人について、米軍関係者が遺体を引き渡された。

第10管区海上保安本部は、「6人」としていた乗組員数を8人に修正。残る7人は、30日午後8時頃まで見つからていない。  
(加藤人、鈴木優香、畠田真一)